

創作舞台

コノハナサクヤヒメ

Sound of SAKUYA

2024.12.28(土)
甲府桜座

昼の部

夜の部

開場 13:30 開場 18:30

開演 14:00 開演 19:00

各部 前売り ¥3,500

当日 ¥4,000

1D込

両部ご購入で
トークイベントご招待
18:00～

●チケットご予約 & お問い合わせ

YCC県民文化ホール 055-228-9131

甲府桜座 TEL 055-233-2031 Mail kofu@sakuraza.jp

または各出演者まで

私たちの、始まり。



津軽三味線
福嶋孝頭



尺八
一瀬恒星



琴
常磐琴音



和太鼓
山口琳平



ゲスト
小林奏貴



作曲・ヴァイオリン
野武大誠



ピアノ
石崎雅葉



ヴァイオリン
中瀬樹



ヴィオラ
大澤玲於奈



ベース
武重俊輔



ドラムス
萩原峻介

日本最古の歴史書である『古事記』には「私たちの始まり」そして「神様の物語」が記されています。天津神であるニギノミコトは、天照大御神の命により、葦原中国を統治するために天降ります。そこでニギノミコトは、大変美しい国津神コノハナサクヤヒメと出会い一目惚れし、その場で結婚を申し込みます。コノハナサクヤヒメの父であるオオヤマツミは大変喜び姉のイワナガヒメと共に姉妹をニギノミコトに嫁がせようと思いました。しかし、とても美しい妹に対しイワナガヒメの容姿は大変醜いものであったためニギノミコトはその目のうちに送り返してしまいます。「繁栄」そして「永遠の命」それぞれを司る二人の女神が引き裂かれたことにより、それ以降の天津神の神御子には寿命が与えられてしまうのでした。その後、たった一夜にして身籠ったコノハナサクヤヒメはニギノミコトから不貞を疑われます。しかしコノハナサクヤヒメは、燃え盛る炎の中で出産し子供たちが紛れもなく天津神の神御子であることを証明してみせたのでした。父母から、天と地、両方の霊力を受け継いだ三人の神御子が誕生したのです。時は過ぎ、私たち人間の時代。富士山は幾度となく大噴火を起こし、人々を苦しめました。そこで人々は、山神の怒りを鎮めるべく美しい女神コノハナサクヤヒメを「鎮火の神」として祀りました。これが今日の富士山信仰の始まりとなります。古の神々は人々の願いを聞き入れ、手を取り合い富士山の鎮火へと向かいます。儂さと共にある究極の美の女神コノハナサクヤヒメ。天の力を持ち、大地を支配するニギノミコト。それぞれを取り巻く神々の物語。これは、私たちの始まり。森羅万象に住まう神様の、愛と祈りの物語。

Sound of SAKUYA

富士山の世界遺産登録10周年を記念し、2024年に初演された創作舞台「コノハナサクヤヒメ」の音楽チームは、山梨県を拠点に活動する若手音楽家で構成されています。私たち最大の特徴は、三味線や和太鼓といった伝統的な和楽器と、ピアノやヴァイオリンなどの洋楽器が融合し、斬新なサウンドを生み出している点です。楽曲はすべて、この舞台のために一から創られたオリジナル作品で、時に美しく、時に哀愁を帯び、また時に力強く、霊峰富士に宿る「神々」と「愛」の物語を奏でます。